



令和 6 年度特集号

- ・新たに整備した検査棟について
- ・検査棟でのウイルス検査の流れ

編集 山梨県衛生環境研究所 〒400-0027 山梨県甲府市富士見 1-7-31

発行 TEL 055-253-6721(代表) FAX 055-253-5637 HP <https://www.pref.yamanashi.jp/eikanken/>

新たに整備した検査棟について

令和6年8月、新たに検査棟を衛生環境研究所敷地内に整備しました。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い県が実施する PCR 検査数が大幅に増加したため、PCR 検査機器等を追加整備し検査能力の拡充を図りました。その結果、検査室が手狭になり、検査機器を複数階のフロアに点在して設置せざるを得ないなど、作業の安全性や効率性が大きな課題となりました。

新たな検査棟は、一連の検査室を一つのフロアに集約したことで検査動線がスムーズになったことから、複数の職員が一斉に数多くの PCR 検査を実施できるようになりました。

また、「次世代シーケンサー」を新たに導入し、当所でウイルスのゲノム解析が可能となりました。今まで外部委託し数週間かかっていたゲノム解析が数日でできるようになり、新たな感染症が発生した場合には、ウイルスの変異状況などの最新の発生動向を短時間で詳細に分析することができます。

今後、県民の皆様の生命・健康・暮らしを守る「感染症に対して強靱な社会」の構築を図るために、衛生環境研究所の機能を最大限に発揮して参ります。

検査棟全景



各階案内

鉄筋コンクリート造り
3階建て
延べ床面積 583 ㎡

3階 次世代シーケンサー室 等

2階 検体搬入室、遺伝子抽出室、
試薬調製室、PCR 検査室 等

1階 薬品庫 等

敷地平面図



検査棟でのウイルス検査の流れ

検体搬入室



外階段から保健所職員が検体を搬入します。



保健所職員と相互に検体確認ができるように、検体搬入室を設け、誤りなくスムーズな受付ができるようになりました。

各検査室は小窓でつながっているため、人が移動することなく、次の工程に検体を渡すことができます。



遺伝子抽出室



一目で稼働状況が分かるように、自動遺伝子抽出装置を一列に設置しました。これによって、たくさんの検体を効率的に処理できます。

試薬調製室



微量の試薬混合など繊細な作業を行います。PCR 検査専用の調製室を設けたことで、検体や試薬の相互汚染を防ぎます。

ゲノム解析(次世代シーケンサー)



新たに整備した次世代シーケンサー専用の検査室です。熱に弱い機器のため、室温管理を徹底しながら、遺伝子の変異などを詳細に分析します。

PCR 検査室



コンベンショナル PCR やリアルタイム PCR 機器など遺伝子検査に必要な機器が並びます。検査結果の信頼性を保つため、機器の取り扱いには細心の注意を払っています。